

日野小学校だより

令和2年度
須坂市立
日野小学校
R2.12.25⑪



本日で、2学期が終了となります。この2学期も、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために様々な対策をとり、子ども達は自分に何ができるかを考え、周囲への思いやりをもって学校生活を送ってきました。保護者の皆様にも、予定の変更や例年にはない対応などにご協力をいただき誠にありがとうございました。

明日から1月6日まで12日間の冬休みです。

ご家庭で過ごすことも多いと思います。子ども達はたくさんことができますので、家族の一員としてぜひ「家庭の仕事」ができるような場を作ってあげてください。1月7日に元気に会いましょう。

日付	お手つだいしたこと	おうちの人のサイン
5日	コーヒーをいれてくれました。	
8日	おのごわはとりを手伝ってくれました。	
12日	入浴をほうきで掃除してくれました。	
13日	しほじやくき しほをあてはをばこんでくれました。	
18日	お風呂をいそいでくれました。	
20日	しよじやくき しほ、おでんをばこんでくれました。	
ふゆやすみの お手つだいは ふゆやすみように かこう。		

1年生はお手伝いカードを続けています

新型コロナウイルス

「こころ」への感染を防ぐために 全校で考えています！

この感染症に関して、差別や誹謗中傷など、不安な気持ちになる事案が周囲でも聞かれます。

今回、再度、2つのテーマについて全校で考える機会をとりましたが、大人が思っている以上に、子ども達の中に、「不安な気持ち」が強いことが分かりました。

学年に応じて、動画「差別・偏見をなくそうプロジェクト」「ウイルスの次にやってくるもの」を見て考えたり、話し合ったりしました。【動画はYouTubeで視聴可能です】

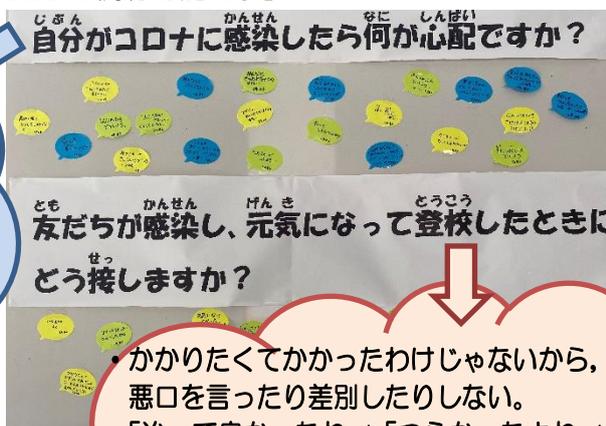
- ・いじめられるんじゃないか・・・
- ・みんなに嫌われないか・・・
- ・他の人にうつしたらどうしよう・・・
- ・家族に迷惑をかける・・・
- ・家族も悪口を言われるのかな・・・
- ・ネットで悪口を言われたらいやだな・・・
- ・重症化・・・
- ・死んじゃったらどうしよう・・・
- ・学校で何て言われるか心配・・・

など

子ども達からは、不安と共にたくさんの「温かい気持ち」や「温かいことば」が出されました。

コロナウイルスの感染は、だれも悪くない、だれも責められることではないと思います。なぜなら、だれもが感染する可能性があるからです。だからこそ、体もこころも感染しないように「自分の力」で予防していく必要があります。何かを感じたり、言ったりしたくなった時に、『ん？ これでもいいのかな？』と、踏みとどまって考えることのできる子ども達であってほしいと思っています。

休み中に、新型コロナウイルス・インフルエンザへの感染については、先日のオクレンジャーへの返信機能を使って、学校へ連絡をお願いします。確認後、学校より折り返し連絡いたします。



- ・かかりたくてかかったわけじゃないから、悪口を言ったり差別したりしない。
- ・「治って良かったね。」「つらかったよね。」
- ・「休み時間、一緒に遊ぼう。」
- ・「元気になって良かった。一緒に遊ぼう。」
- ・自分にできる限り、いつも通りにする。
- ・自分から話しに行きたい。
- ・「おかえり」ってあたたかく迎えたい。
- ・大変だったと思うので話を聞きたい。
- ・自分がされていやなことは、しない。
- ・「ずっと待ってたよ。」「ずっと友だちだよ。」



カナプロジェクト 報告

Canna Project since 2004



写真左から
NASA との取次をしてくださった市川さん (元JAMSS 職員)
カナナ・プロジェクト橋凜保さん (恕学創始者)
カナナ子ども夢プラン実行委員長 三橋さん (社会学者・利他の精神を研究)

日野小学校

カナナ・子ども平和宇宙ミッションのミッションクルーのみなさん!

お元気ですか。カナナ・プロジェクトの、「たちばな りほ」です。コロナウイルスで大変なこともあります。今日はうれしいお知らせです。

みなさんが育てて宇宙を旅したカナナのタネが「宇宙カナナ」と栄誉の名前をいただき、12月19日、たちばなの手にもどってきました^^V **❖おめでとうございます❖**

宇宙からのクリスマスプレゼントですね^^

2020年3月7日に打ち上げ成功! 超小型衛星ガンダムと一緒に!

3月9日、ISS(国際宇宙ステーション)へのドッキングに成功。そして・・・

8月3日、初の民間有人宇宙船で宇宙飛行士さんたちと一緒に地球に帰還! 大ニュースでしたね!

その後、コロナの影響で日本に帰れず、アメリカのヒューストンにとどまっていた。ようやく12月14日、帰国。成田東京国際空港で植物検疫に合格。みなさんの寄せ書きやUSBも無事でした。

今回の皆さんの宇宙ミッションの目的は、このかなちゃんと同じ目線で、宇宙からの視点で地球を考える子どもたちになって地球の未来をつくるためです。

1945年、広島原爆投下から1ヶ月で花を咲かせた真っ赤なカナナ。しかしその後の復興の陰で瓦礫とともに処理され、人々の記憶からも消え去られた花です。

この事実を再び記憶にとどめ、戦争を2度と繰り返さないために、株分け植栽リレーで『平和』と『希望』をつないでいます。

『カナナ・プロジェクト』のカナナは、現在33都道府県16カ国191校に咲かせています。

忘れられたカナナは妖精『かなちゃん』となって75年もの間、宇宙からずっと地球の平和を見守ってくれています。

ISSから貴重なビデオも届いています。ぜひ、皆さんにお見せしたいです。また、皆さんへのタネの変換もふくめ、講演ができることを願っています。

とは言っても、これがゴールではありません。宇宙カナナを育てること、そして、平和な地球をつくることのスタートですね。

どうぞ、みなさんもコロナやインフルエンザに気をつけてお過ごしください。

皆さんとお会いする日を楽しみにしています。

2020年12月19日 カナナ・プロジェクト 橋凜保

宇宙カナナの種たちが、ふたたび日野小学校に戻ったら、私たちはどんなことができるでしょうか・・・?

みんなで考えて、「平和」と「希望」のルネを続け、思いをつないでいきたいと思います。



カナナ子ども平和宇宙ミッション 帰還
2020.12.19 受領式 品川にて



2020.12.19 品川にて

(上) 子どもたちが育てたカナナのタネ
(下) 今回のミッションに参加した学校の写真



昨年の運動会で撮影した集合写真